

☆令和5年度 農業クラブフラワーデザイン競技県大会 優秀賞



大洲農業高等学校 3年

生産科学科で草花の栽培について学ぶ3人は、5月26日(金)に松前町で開催されたフラワーデザイン競技県大会に出場し、全員が優秀賞を受賞。さらに奥野さんは10月に福井県で開催される全国大会の出場者に選ばれました。フラワーデザインは花の個性を生かしながら配置や配列を工夫しデザインする創作活動で、3人は自ら出場を希望し、大会に向けて練習を重ねました。大会では、使われる花の種類は事前に知らされるものの、色などは不明のため、頭の中でいろいろなパターンを思い描きながら、当日に臨んだそうです。花の重みで茎が折れたりしないよう気を使いながらも、それぞれがしっかり自分の世界を表現することができたことが、全員入賞という快挙につながりました。

左から

原井川	ゆう	だい	さん (バラ)
二宮	さくら	桜	さん (サクラ)
奥野	しゅん	太	さん (ガーベラ)

() は好きな花



原井川さん作「頂点」



二宮さん作「流れ」



奥野さん作「WBC」

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.78 帝京第五高等学校

サッカー部主将の宮島^{しゅうた}悠汰です。全国高等学校総合体育大会(インターハイ)サッカー競技への出場に際し、多くのみなさんより心温かいご支援と激励の言葉をいただき、本当にありがとうございました。

県大会決勝戦当日は、本校は全校生徒そろって応援に参加してくれました。校内外問わず、さまざまな人に支えられながら、自分たちの目標のためにサッカーを続けられることは、本当にかげがえのないことだと思います。

また、本校では6月に、「帝京祭」という文化祭を開催しました。準備期間が短い中、生徒会を中心に各クラス協力し、工夫しながら、出し物や出店、バザーなどを行いました。「帝京祭」は4年ぶりの開催となりましたが、みんなで楽しめる、思い出に残るイベントになったと思います。

インターハイでの経験や、生徒のみんなと協力し合った経験を通じて、さらなる夢に向かって頑張ります。たくさんの応援を、本当にありがとうございました。



一回は大洲高等学校からです。一

高校生のファインプレー続く

7月3日(月)、迷子を保護し子供の安全を守ったとして、高校生の2人に大洲警察署の吉良浩幸署長から感謝状が贈られました。6月1日(休)の夜、長浜高校2年の石丸夏実さんが帰宅途中に、雨の中で傘もささずにいる幼児を発見。その後に通りにかかった同級生の朝木海地さんと一緒に保護しながら警察へ通報し、幼児は無事に親元へ戻ることができました。

また、7月18日(火)には倒れて動けなくなっている人を救助した同じく長浜高校2年の宇都宮旭さんへ、大洲地区広域消防事務組合の和氣和清消防長が感謝状を贈呈しました。7月2日(日)、宇都宮さんは長浜大橋付近の河口で、半身が水に浸かった状態で仰向けに倒れている男性を発見。すぐさま駆け寄った宇都宮さんは、男性の安全を確保しながら消防署へ通報し、男性は一命を取り留めることができました。

感謝状を受け取った3人は「自分がこんな体験をするとは思ってもみなかったが、とにかく二人とも無事で良かった」と口を揃えました。



迷子を保護した朝木さん（左）と石丸さん（右）



倒れた男性を救助した宇都宮さん

暑い夏は海とプールで乗り切ろう！

長浜海水浴場の海開きに合わせて期間中の無事を祈る安全祈願祭が7月14日(金)に行われました。祈願祭には地域の関係者などが参加し、玉串を捧げながら事故が無いように祈りました。祈願祭の後は長浜保育所の年中・年長組の児童が初泳ぎに挑戦。少し冷たさの残る海水に悲鳴を上げながらもすぐに慣れ、水を掛け合うなどして楽しんでいました。

大洲市観光協会長浜支部の加藤裕介支部長は「コロナの影響も収まってきて、観光客も戻ってきている。これを機に今年の夏は長浜海水浴場にぜひ足を運んで欲しい」と話していました。

続いて7月22日(土)には八幡浜・大洲地区運動公園水泳プールが開園。オープニングイベントとして主馬神伝流保存会による古式泳法の披露や、お菓子まきが行われました。この日は日差しの照り付ける暑さも相まって多くの人々がプールを訪れ、夏の一日を過ごしていました。

長浜海水浴場は8月31日(木)、運動公園プールは8月27日(日)まで利用できます。



長浜保育所の子供たちも大喜び



プール開きも多くの人で賑わいました

きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



肱川発電所が運転を再開

平成30年7月豪雨により水没し、運転不能となった肱川発電所が機器を新たにして運転を再開することとなり、6月15日(木)に鹿野川ダム下にある同施設内で運転開始式が行なわれました。式典で中村^{ときひろ}時広知事は「クリーンな電力である水力発電が再開できたことは大変うれしい」とコメントしました。新しい発電所の年間発電量は一般家庭のおよそ9,800世帯分に当たる約3,000万kWhとなるとのことです。



うかいについて学ぼう

6月16日(金)、「うかい出前教室」が平小学校で開かれました。この教室は子供たちに大洲の伝統文化を知ってもらおうと大洲市観光協会が実施しています。この日は鶺の「まるちゃん」と「ちびちゃん」が登場しました。参加した5年生は、総合的な学習の時間で「大洲のよさを伝えよう」をテーマに学習に取り組んでいます。うかいについて調べている児童も多く「鶺同士でケンカはするのか」など鶺の生態について多くの質問が飛び交いました。



地元志向の若者を増やそう

地域にある企業の魅力を知ってもらい、地元での就職を目指す若者の雇用拡大を図ろうと、大洲・内子地域合同企業説明会が6月23日(金)に国立大洲青少年交流の家で開催されました。説明会に参加する地元企業は年々増加していて、今年は55社がそれぞれにブースを並べ、地域での就職を考える市内や近隣の高校生を中心に事業内容の説明などを行いました。参加した生徒からは「気になる企業の話が一度に聞けるいい機会」との声が聞かれました。



えひめつくりてマルシェ

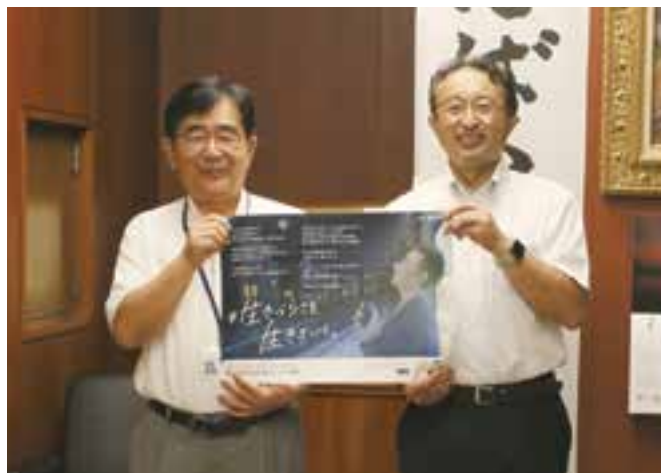
6月23日(金)から26日(月)まで、愛媛のサステナブルな商品を集めた「えひめつくりてマルシェ」が大洲市青年農業者協議会「アグルビット」と「OZU+」の主催により、今岡邸ギャラリーで開催されました。24日(土)には味噌づくりのワークショップが行われ、参加者は楽しみながら「食」の大切さを学びました。

また、アグルビットのメンバーが店頭でとれたての大洲野菜を販売し、PRを行いました。

#生きづらさを、生きていく。

犯罪や非行のない明るい社会を築くための活動を推進する、第73回「社会を明るくする運動」川上大会の推進委員長に二宮市長が就任しました。

7月3日(月)には大洲地区保護司会の東太^{たいち}一会長をはじめ保護司のみなさんが市役所を訪れ、市長に内閣総理大臣からのメッセージや啓発チラシなどを手渡しました。犯罪や非行をした人たちの更生について、地域で理解し、見守り、支えていくことが必要だと語り合いました。



南海放送(株)と連携・協力協定を締結

7月3日(月)、情報発信および交流の拡大を目指すことを目的に、大洲市と南海放送株式会社(大西^{おにし}康司社長:写真左)は連携・協力協定を締結しました。

この協定により、大洲市と南海放送(株)は南海放送ラジオのFM局(エフナン)を活用したイベントや物産情報などについてのPR活動の推進が図られます。また、大洲市にかかわりが深く、ラジオ番組などで活躍する宮崎ユウさんを大洲市応援サポーターに委嘱し、大洲市の情報発信に努めてもらいます。



かわかみ荘から子供たちへプレゼント

7月5日(水)、特別養護老人ホームかわかみ荘の利用者が河辺小学校を訪れ、フラワーアレンジメントや扇子うちわなどの作品を子供たちにプレゼントしました。かわかみ荘では開設以来、地元の子供たちと交流を重ねていましたが、新型コロナウイルスの影響により中断され、今回は久々の小学校訪問となりました。小学校と幼稚園の児童たちはプレゼントに喜びながら、その完成度の高さに驚いていました。



豪雨災害犠牲者へ追悼の献花台

平成30年7月豪雨災害により亡くなられた方々に追悼の意を表すため、災害から5年が経過した7月7日(金)、市役所に献花台を設置しました。参列者による黙とうと二宮市長による哀悼の言葉の後に、それぞれが献花を行いました。この日、献花に訪れた人々は、花を捧げながら犠牲者の冥福を祈るとともに、5年間の復興の日々に思いを馳せていました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



夕焼けビールトロッコ列車始まる

恒例の夏の風物詩「夕焼けビールトロッコ列車」が今年も運行されるのに先立って、7月7日(金)にオープニングセレモニーの列車が運行されました。19時20分、関係者が乗った列車がJR長浜駅に着くと、地域の商店連盟や長浜高校の水族館部が大勢でお出迎え。

地元特産品の販売や、高校生によるクイズ大会が駅構内で開催され、乗客のみなさんは楽しいひと時を過ごし、別れを惜しみつつ地元の人々に見送られながら、帰りの途につきました。



愛媛FCが長浜小を訪問

7月12日(水)、愛媛FCの選手が長浜小学校を訪問しました。愛媛FCでは地域に根差したチーム作りのため、選手との交流を深めてもらおうと、ホームタウン活動として県内の学校を訪問しています。この日訪れたのは佐々木匠選手と疋田優人選手の2人で、6年生の児童と鬼ごっこやミニゲームなどで楽しみました。愛媛FCの大洲市マッチシティは8月26日(土)に開催され、自由席は高校生以下なら無料で観戦できます。



生まれ変わった空き家を見学

肱南地区の古民家を改修・活用した分散型ホテル「NIPPONIA HOTEL大洲 城下町」が新たに4棟4室の改修を終え、7月15日(土)に地域住民向けの内覧会が開催されました。主催者側からは「空き家が少なくなり、火災の心配も減る」など説明がありました。生まれ変わった古民家の姿に参加者は驚いたり、「懐かしいね」「荒れていたところがきれいになってよかったね」など会話に花を咲かせていました。



復興のシンボルとして地域と共に

平成30年7月豪雨災害で浸水被害を受けた4つの公共施設を集約し、地域コミュニティや行政サービス、防災などの機能を備えた「肱川地区複合公共施設」の落成式が7月20日(木)に行われ、関係者ら60人が出席しました。

落成式の後、施設内を見学した地元参加者は「こんなに良い施設ができるとは思っていなかった。よかったと思う。地域のみなさんにも足を運んでもらい、交流を深められたらいい」と話していました。

【サトイモのココロドーナツ】



材料（一口大の大きさ25個分）

サトイモ	100g
小麦粉	150g
ベーキングパウダー	小さじ1
卵	1個
牛乳	100ml
バター	20g
塩	ひとつまみ
砂糖	大さじ3
粉糖（まぶす用）	適量

作り方

- ① サトイモは皮をむき、一口大に切る。耐熱皿に入れてラップをして、600Wの電子レンジで約3分加熱する。（ゆでもOK）柔らかくなったら、つぶす。
- ② 小麦粉とベーキングパウダーは、一緒にふるっておく。
- ③ 室温に戻したバターをボウルに入れ、泡だて器で滑らかになるまで混ぜる。
- ④ ③に砂糖を加えて、混ぜたら溶き卵を数回に分けて入れてさらに混ぜる。
- ⑤ ④に牛乳・サトイモの順に加えてよく混ぜ、塩と②を加えてヘラで混ぜる。
- ⑥ 160℃～170℃の油で、生地をスプーンで落とし入れながら、きつね色になるまで揚げる。
- ⑦ お好みで粉糖をまぶす。

サトイモの栄養

大洲市の特産物であるサトイモには、炭水化物や食物繊維が多く含まれています。特にカリウム含量が高いことから、血液中のナトリウムを排出させ、高血圧予防に効果があると言われています。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかず 第8回

DXのすゝめ



今回は「DXによって子どもたちの教育はどのように変わっていくのか」をお伝えします。

近年の新型コロナウイルスの影響により、公立の小中学校の児童生徒に「1人1台のデジタル端末」が整備されました。これまで日本の学校では、授業中に先生が黒板に板書して、子供たちはそれを書き写すスタイルが一般的でした。そうすると、積極的に手を上げて発表する子は授業に参加出来ましたが、授業の内容がよくわからない子供は取り残されてしまうケースもありました。しかし、1人に1台の端末とネットワークの環境があれば、先生はすべての子供の回答をその場で確認し、習熟度をチェックしながら授業の速度などを調整することができます。また、家庭での宿題においても、デジタル端末を活用することで、例えば、生徒が過去に間違えた問題を重点的に再表示させるなど、生徒一人一人に合った学習が可能になります。

このように、デジタル端末を活用した新しい教育の形は、文部科学省が「個別最適な学び」と謳って推進しているものです。DXは単なる効率化だけでなく、教育の質の向上にもつながるものとして期待されています。

次回も国内におけるデジタル化の取り組みについて、引き続きご紹介いたします。

文化財

なるのう
成能村農民27人
同志郷約の地
大洲市指定史跡
成福寺



江戸時代の中頃、陽明学者の川田雄琴ゆうきん（1684-1760）は大洲藩主や藩士に講義を行う一方で、藩内を巡回して庶民にも分かりやすく陽明学の教えを広めました。その雄琴の話に触発された成能村の農民27人は、自主的に自分たちにでもできることを話し合い、覚書を作って守ることを誓いました。

元文5（1740）年頃に作られたこの覚書の内容は11か条からなり、農業に励むこと、博打をしないこと、互いに助け合うこと、などが記されています。

当時、庶民が集会を開いたり団体で行動することは禁止されていましたが、藩はその内容に感心し、一切の罰を与えませんでした。

大洲藩内でこのような覚書が作られたところは他になく、農民の優れた行いを伝える地といえます。（昭和60年9月26日指定）